

教育・保育施設等に従事する者についての需給状況について(R4実績)

(ア)最低基準上、必ず配置しなければならない職員数 (単位:人)

		(0歳児) 3人に1人	(1歳児) 6人に1人	(2歳児) 6人に1人	(3歳児) 20人に1人	(4、5歳児) 30人に1人			
年度	保育教諭			保育士			幼稚園教諭		
	需要量①	供給量②	②-①	需要量③	供給量④	④-③	需要量⑤	供給量⑥	⑥-⑤
計画	1,453	2,454	1,001	2,736	4,425	1,689	220	904	684
実績	1,782	2,434	652	2,719	3,886	1,167	197	846	649

(イ)幼児教育・保育の質の向上を図る取組を一部実施する場合に配置が必要な職員数 (単位:人)

		(0歳児) 3人に1人	(1歳児) 6人に1人	(2歳児) 6人に1人	(3歳児) 20人に1人 → 15人に1人	(4、5歳児) 30人に1人			
年度	保育教諭			保育士			幼稚園教諭		
	需要量①	供給量②	②-①	需要量③	供給量④	④-③	需要量⑤	供給量⑥	⑥-⑤
計画	1,501	2,454	953	2,796	4,425	1,629	251	904	653
実績	1,833	2,434	601	2,779	3,886	1,107	225	846	621

(ウ)幼児教育・保育の質の向上を図る取組を全て実施する場合に配置が必要な職員数 (単位:人)

		(0歳児) 3人に1人	(1歳児) 6人に1人 → 5人に1人	(2歳児) 6人に1人	(3歳児) 20人に1人 → 15人に1人	(4、5歳児) 30人に1人 → 25人に1人			
年度	保育教諭			保育士			幼稚園教諭		
	需要量①	供給量②	②-①	需要量③	供給量④	④-③	需要量⑤	供給量⑥	⑥-⑤
計画	2,047	2,454	407	3,502	4,425	923	277	904	627
実績	1,949	2,434	485	2,946	3,886	940	247	846	599

○需給推計ア～ウすべてで、計画・実績のいずれも需要を上回る供給となっている。
 ○今後も、国の動向等を踏まえ、市町村や関係機関と連携を図りながら、各種施策に取り組んでいきたい。